

# 文書館だより

ふみくら

# 文庫

## 第3号

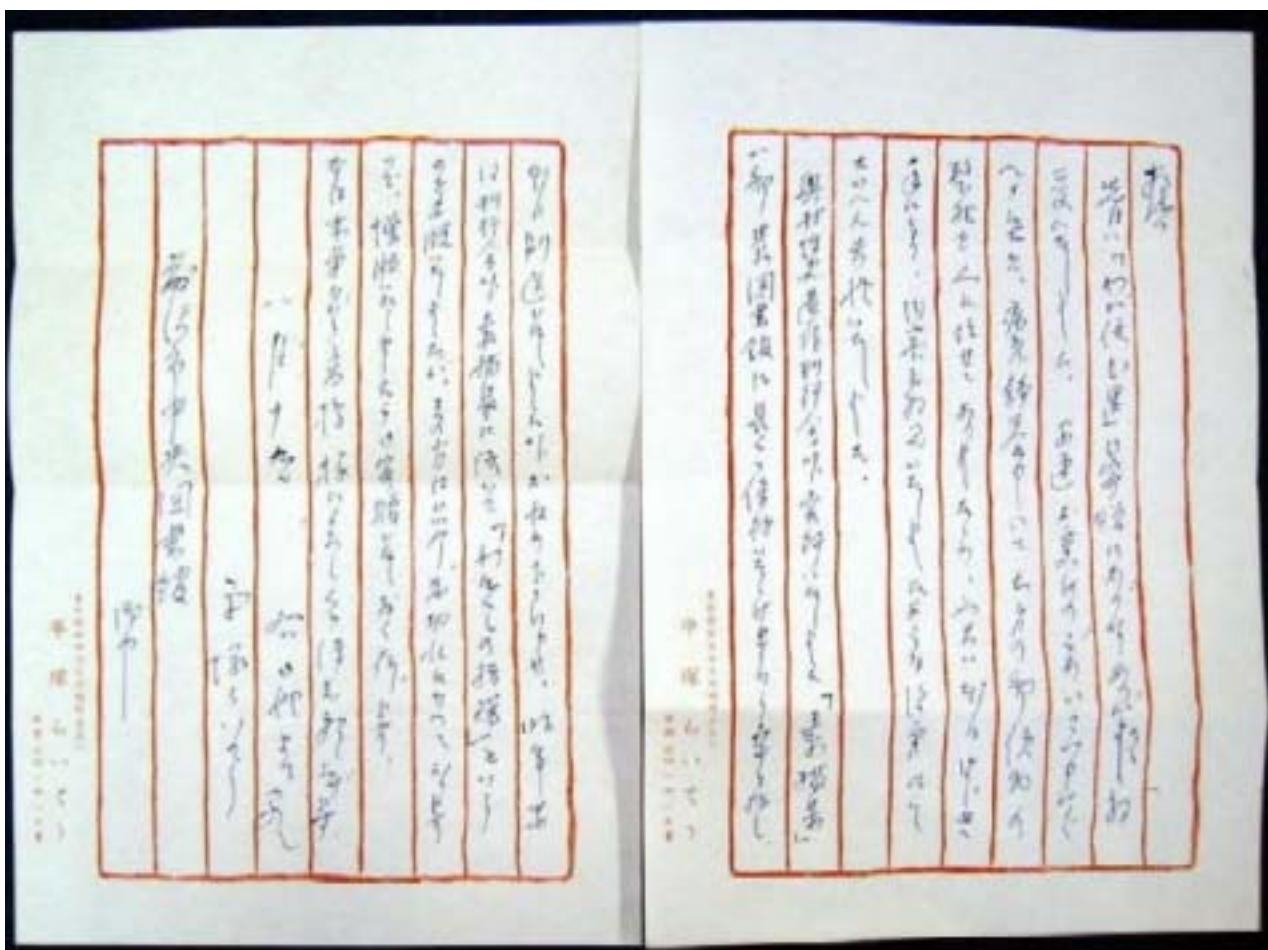
2005年1月31日発行

藤沢市文書館  
Fujisawa city archives

〒251-0054 藤沢市朝日町12-6

電話 0466-24-0171 FAX 0466-24-0172

URL <http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/>



### 平塚らいてうの手紙

この手紙は、『わが住む里』の最新号を贈呈された礼状として、平塚らいてう(1886~1971)が藤沢市中央図書館(現在の総合市民図書館)あてに送ったものです。ちなみにこの年、平塚はベトナム戦争終結のため、詩人の深尾須磨

(昭和41年(1966)8月19日)

子(1888~1974)ら各界の代表的女性とともに、アメリカと参戦国の女性に対して反戦を訴える、「平和カードの波運動」を展開していました。(文書館所蔵の「野間真栄文書」から)

### \* 目次 \*

文書館のホームページがリニューアルされました	2
連載第2回 藤沢山日鑑茶話「おばあさんのはなし」	3

文書館所蔵の地図資料目録が整いました	3
連載第3回 古文書の読み方(問題編)	4
郷土史料紹介コーナー	4
編集後記	4

# 文書館のホームページが リニューアルされました

文書館のホームページ（ＨＰ）がこのたびリニューアルされました。当館のＨＰへは、藤沢市ＨＰのトップページの中の『芸術・文化』『文化財・博物館』『行政文書・歴史資料』『図書館』などからリンクされていますので、ぜひアクセスしてみてください。

藤沢市のＨＰは、昨年7月から画面を一新いたしました。当館のＨＰも、その後に何回かの更新を重ねて現在のＨＰになりました。

主な更新内容としては、ビジュアルな画面をということで、写真を多く掲載したことです。

また、文書館の創立30周年記念として刊行を開始しました、この文書館だより『文庫』のバックナンバー（創刊号と第2号）を画像（ＰＤＦファイル）で掲載しています。

文書館では、藤沢市が発行した有償刊行物の頒布をしていますが、その刊行物の内容を紹介しています。



文書館業務のご案内

文書館の役割と仕事  
歴史・行政情報の提供  
古文書・地域資料の継承  
歴史を知るための事業



収蔵資料の概要

地域歴史文書  
近世藤沢宿役人文書  
近世・近代村方文書  
近世江の島関係文書  
漁業関係文書  
寺社関係文書



文書館だより『文庫』(みみづか)

創刊号（ＰＤＦ版）  
第2号（ＰＤＦ版）

有償刊行物のご案内

刊行物の紹介  
新刊案内  
ジャンル別

文書館施設のご案内

利用の仕方  
開館時間  
休館日  
交通のご案内

文書館の行事・講座・展示

歴史講座  
古文書講座  
収蔵資料展

購入方法と頒布場所

藤沢山日鑑に出てくる人たちの多くは男性です。でも、まったく女性が登場しないわけではありません。寺内にこそいませんが、参詣や祈禱などに訪れる女性は、近隣、遠方を問わず多く見られます。また、大名家の女中衆が、東海道を旅する途中で遊行寺に立ち寄り、宝物などを拝見することもあります。そんな折には、寺のなかにも華やかな空気が流れたことでしょう。

訪れる女性たちのエピソードの中でも、おばあさんはなしに、印象深いものがいくつありました。今回はそんなおばあさんたちの紹介です。

宝暦2年(1752)2月14日、戸塚の影取から伊左衛門の母が、そば粉を献上にやってきました。そのあと御居間でお酒を出したところ、これがびっくり。「大酒呑ばゝ(婆)ニ御座候」だったのです。(右の画像)

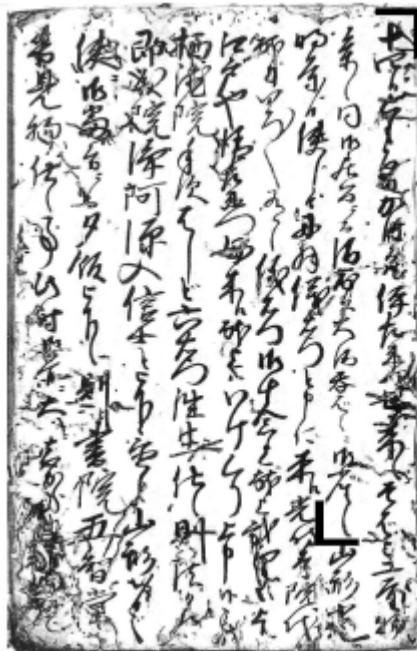
明和8年(1771)9月20日、江戸の元四日市町(現中央区日本橋)から越前屋孫兵衛が7月に亡くなった老母の納骨に訪れます。この方の俗名はわかりませんが、戒名が「称専院進式猛誉勇林大姉」。なんと力強い戒名でしょう。『時宗法要教典』では、「法号(戒名)を見れば、その人の人柄、個性が表されていて、遺族縁者友人等が、故人をしのぶよすがとなるように命名する」とされています。それならば、いったいどんな逸話の持ち主であったのでしょうか。はなはだ残念ながら、日鑑にはそこまでは記されていません。

天保11年(1840)9月6日、三浦郡のある女性が106歳で亡くなったとのことで、御回向願がきました。数え年とはいえ、100歳は越えています。江戸後期は意外に高齢者が多く、立川昭二著の『江戸病草紙』によると、著名人の平均寿命は65.2歳といいますが、当時としてもまれに見る長寿だったでしょう。

同年4月8日には、麻布の仙台屋敷(仙台藩下屋敷、現港区南麻布)の鈴木錦之介の母「とわ」がやってきて、一粒に付き、念仏を一唱した白

(宝暦二年二月)

十四日くもる日かけ取伊左衛門母来候、そばこニ重持  
參候、同御居間ニ而酒出ス、大酒呑ばゝニ御座候



米を一升を献上しました。升が「ます」なのか「しょう」なのかはわかりませんが、「ます」だとしてもかなりの時間がかかったことでしょう。信心の深さがしのばれます。ただ、両国米沢町(現中央区東日本橋)に住む長谷川祐蔵という男性も、天明8年(1788)から寛政4年(1792)にかけての7月にいく度か、一粒一遍念佛の米を1袋と一錢百遍念佛の錢を100文か200文献上しているので、女性に限ったことではなかったともいえます。

ときどき日鑑の中にあらわれるおばあさんたちですが、皆さんなかなか個性的だとおもいませんか?

おことわり: 刊行された『藤沢山日鑑』と表記が異なる部分がありますが、原本または写真版で確認し訂正したものです。

## \*\*\*\*\* 文書館所蔵の地図資料目録が整いました \*\*\*\*\*

藤沢市文書館では、江戸時代以前の古文書や役所で毎日作製している行政文書だけでなく、藤沢に関する地図の収集保存も行っています。

開館以来30年に渡って集めた地図の総数は約600タイトルになります。測量の一番古いものは明治15年(1882)、最新のものは平成13年(2001)。サイズの小さいものはB5版に藤沢市が入ってしまうものから、大きいものは約109cm×79cmサイズの紙を37枚つなぎ合わせて藤沢市全域になる地図もあります。古い公図もあります。このように時代・縮尺の多種多様な地図を、目的に合わせて探すことができるよう地図資料目録を作成しました。

地図は線と記号で土地の現況を表現します。写真と比較して、一見単純な表現方法ではあります。しかし、例えば片瀬山周辺を地図で測量年の古い順に見ていくと、一帯が宅地開発され住宅街に変貌していく様子を目にすることができます。このように時代ごとに複数枚の地図を見ていくことで片瀬山だけではなく、どこの地域でも時代の変化を振り返ることが可能です。

お住まいの周辺の地図を地図資料目録から探して、地域の成り立ちを考えてみるのはいかがでしょうか?

地図資料目録と収蔵地図の解説は本年4月発行の『藤沢市文書館紀要』第27号に掲載します。

連載

# 古文書の読み方

第3回 問題編



【問題】写真の古文書は、江戸時代の文書の中で基本的な帳簿の最初の部分です。この文書の名称をお答えください。(解答と読み方は、次号に掲載します。)

この文書は主としてキリストン統制のために村や町

ごとに作成され、住民すべてが記録されており、明治以降の戸籍帳簿と同様の役割をもっていました。当時の人口や家族構成などを知る重要な史料です。

〔訂正〕前号で「不受布施」とあるのは、正しくは「不受不施」でした。お詫びして訂正いたします。

## 郷土史料

### 紹介コーナー

#### 「東海道藤沢宿 助郷会所日記」

玉縄の古文書を読む会編(2004年8月発行)  
旧関谷村の旧家平井家に所蔵されていた史料のうちの一点を  
玉縄の古文書を  
読む会が解読し  
た冊子で、藤沢宿の助郷会所が  
残した天保2年(1831)正月4日から10月17日までの日記です。会所内の日々の動きや助郷に指定された近隣の村々の名主の行動などが細かく記録されています。

東海道藤沢宿  
助郷会所日記

#### 編集後記

文書館の創立30周年を記念して、昨年7月に創刊いたしました「文庫(ふみくら)」も、はや第3号をお届けすることができました。市民の皆様に文書館の活動内容を広く知っていただくためにホームページの更新にも

#### 「eデモクラシーへの挑戦 藤沢市市民電子会議室の歩み」

金子郁容・藤沢市市民電子会議室運営委員会(2004年4月発行)

市民電子会議室とは何か、そこではどんな事がおこなわれているのか、それは民主主義とどうかかわってくるのか。藤沢市市民電子会議室の立ち上げに関する事情やその運用状況を具体的な例をあげて紹介したり、電子会議室の意味や将来の可能性を探っています。

#### 「生い立ちと国鉄生活 九十寿を迎えて」

福原 力三著(2003年3月発行)  
藤沢市辻堂新町にお住まいの福原力三さんが九十歳の記念に出された自分史です。

生まれ育った家庭のこと、国鉄職員として働いていた時のこと、その後社会福祉に携わったこと、その間に知り合った人々や家族のこと、折々に見聞したことなどいろいろな経験や信条などが率直に書かれています。

\*\*\*\*\*

力を入れています。ホームページをご覧になってのご感想がありましたら、ぜひお寄せください。これからも文書館だより「文庫(ふみくら)」のご愛読をお願いいたします。(み)